

舵輪

海王丸 今年最後の総帆展帆とその後

(今年最後の総帆展帆と運動会)

十一月五日海王丸では今年最後の総帆展帆を行いました。参加したボランティア総数は八十八名でした。風向、風力の関係でコース、クロジヤツキを展帆することができませんでしたが老若男女を問わず皆さんの協力で展帆されたセイルは美しく輝いていました。

昼休みの間、毎年恒例の運動会「ネプチュニアード」が行われました。各マストごとに分かれフォアマストチーム、インマストチーム、ミズンマストチームと3チームを作り競技を行いました。競技の内容は椰子の実5個を持ってリレーを行う「椰子の実リレー」、高所作業帽を三つ被り二人三脚でリレーを行う「二人三脚三帽」、そして最後に「綱引き」が行われました。各選手はトップであつても最後であつてもゴール、勝利を信じて頑張っていました。結果は左のとおりでした。優勝はフォアマストチームでした。

(アンベンディングセイル)

十一月六日・七日はヤードに取り付けてあるセイルを取り外す作業「アンベンディングセイル」が行われました。第一日目のボランティア参加者は十七名でした。作業内容はセイルの取り外し、セイルの点検(破れ、擦れのチェック)及びセイル口ツッカーへの収納、デッキ上でのセイル取り外し作業の援助(デッキ上でロープを引いたり伸ばすなどして援助する作業)、使い終わったロープなどを外し収納する作業など数多くの作業があります。ボランティア作業員は少人数でしたがこれらの作業をときばきと行い、予定よりもかなり早く全てのセイルを下ろ

すことができました。

セイルを外し終わると、次はステイのタール塗りを、ヤード・マストの塗装の準備を行います。七日は塗装前の拭き取り作業を行いました。ボランティア参加者は八名でした。一年間のマスト・ヤードの汚れを拭き取ると海王丸は美しくなりました。しかし作業を終えて海王丸を見ると、セイル索具が無くなった分、寂しく見えます。アンベンディングセイルが終えると富山も冬を迎える時期になります。

(ブラックダウン・マストヤード塗装)

十一月七日から海王丸は高所から落ちるタールや塗料の汚損を防ぐためビニールシートや古い帆布などを使って上甲板を覆います。この作業を養生(ようじょう)と言います。

養生を行うと「海の貴婦人」の風格が無くなり「海賊船」「難破船」のような雰囲気になります。

養生が終わればステイ(マストを支える支索)にタールを塗り込む「ブラックダウン」と言われる作業を行います。タールでコーティングすることにより塩や湿気からステイを守る役割を持っています。ブラックダウンが終わると次はマスト・ヤード塗装に入ります。塗装は船を美しくするために行われますが他に船体を錆くから守る役割も持っています。現在海王丸はブラックダウンやマスト・ヤード塗装を行っています。それは美しくすること、船体の保守を行っているのです。作業の内容に興味のある方は海王丸まで足を運んでみて下さい。

この作業期間中、海王丸は一般公開を行っていません。一般公開の再開は十二月一日です。しばらくの間休館となりますが、皆様のお越しをお待ちしています。海王丸に遊びに来て下さい。

美しい姿 また来春

新湊市港湾課長 宮田 雅人

このタイトル、どこかで見た覚えありませんか。そうです。某新聞社の十一月六日の記事の見出しです。

一見普通の表現ですが、次の展帆を待ち望む気持ちで静かに伝わって来る感じがします。「今年も一年間ありがとう。来年も美しい姿をまっていますよ。」そんな気持ちを抱いた一人です。今年最後の展帆を無事終えられ、関係者の皆さんに心からねぎらいと感謝を申し上げます。

また、先月は海王丸の富山新港係留十周年記念として、新海王丸が寄港し、歓迎事業に携わられた方々には本当に大変であったことと思います。いろいろと課題も出てきました。大型イベントとの同時開催による交通渋滞や駐車場対策をはじめとする根本的な課題、そしてより効果的な歓迎をするにはこうしたら良かったのではといった、経験してみても初めて見えてきた課題もあつたと思います。

いずれにしても、振り返り課題を整理することで、次のステップを踏むことができると思います。

さて来年は、新湊市市制施行五十周年を迎えます。その記念事業として、再び、新海王丸の寄港を要望しています。

そこで、読者の皆さんに、是非すばらしい「知恵」をお貸し願いたいと思います。二代目海王丸の富山新港寄港が実現した場合、どのように歓迎事業を取り組めばよいか、また、こんなことに気をつけるべきだということなど、何でも結構です。からアドバイスをお待ちしています。

ところで、全国に三千六百余りの自治体がありますが、「生きた帆船が在る街」は、既に知られているとおり、大横浜市と新湊市だけです。このことを誇りに持ち、貴重な財産をもっと広く活かすことに知恵をしばるべきだと思っております。

活気ある新湊のまちづくりをこれから応援よろしく願います。

皆さんからのアドバイス 待っています。

FAX 0766 82 8252

「せば」

退任の挨拶

前回、高橋業務課技術委員の挨拶が抜けていました。お詫び申し上げます。前回掲載のなかった部分を記載します。

業務課技術員 高橋 裕一

「せば」

今年も日本の夏の暑さが過ぎ、秋の声が聞こえる今日この頃、富山を離れることになりました。思えば遠くへ来たものだと改めて実感しています。

富山での二年間、蕎麦好きの私はあちらこちらに食べ歩き、そして旨い酒を飲み、二日酔いになつては温泉に浸り、休暇を楽しみ私なりに有意義に過ごすことができ思い出の地となりました。

もちろんボランティアの皆さんと交流できたことも思い出としてこれから心に残るでしょう。

皆さんはこれからも末永く海王丸を愛して下さい。腹八分目と言う言葉がありますが、富山弁理解度八分目でさよならします。お元気で「せば」。

十一月期主なイベント

十一月二日・三日

海洋教室(新湊 小学校)
(中伏木小学校)

十一月五日

総帆展帆(通算九十六回目)

十一月六日・七日

アンベンディングセイル
ブラックダウン
マスト・ヤード塗装
海王丸休館期間

十一月六日

ボランティアの集い
(「係から」参照)

十一月二日

餅つき大会
(「係から」参照)

十二月二十三日

餅つき大会
(「係から」参照)

舵輪

係かき

「ボランティアの集い」

ボランティアの集いにつきましては変更があります。十一月五日の反省会の時に十二月三日と伝えましたが、都合により十二月二日(土)に変更となりました。御了承願います。

「ボランティアの集い」は左のように行う予定です。

日時 平成十二年十二月二日(土)
受付開始 午後六時三十分
開催時刻 午後七時

場所 とやま自遊館
富山市湊入船町9番1号
TEL 076-444-2100

(JR富山駅北口から徒歩十分)

交通 できれば公共の交通機関でお願いいたします。駐車場は完備してありますが車が多ければ入れないことがあります。

イベント内容

- 代表挨拶
- 精勤賞授賞

- 新職員等紹介
- ゲーム
- ボランティアからの挨拶
- 船長挨拶等

会費

無料

皆様のお越しをお待ちしています。

「餅つき大会」

海王丸ボランティアの親睦を図ること、海王丸の安全、ボランティアの発展、見学者の健康を祈願するため餅つき大会を行います。予定等は左のとおりです

日時 平成十二年十二月二十三日
開始時刻 午前九時

場所 海王丸西側棧橋(乗船口横)

内容 餅つき、お飾り用餅作り、豚汁作り及び乗船者への振る舞い

予定

- 九時 作業開始
 - 十時 つき始め
 - 十一時 振る舞い始め
- (乗船見学者先着百名に振る)

舞う予定)
十五時 後片づけ、解散

現在餅米80kgを依頼しています。餅をつくのは大変な作業です。80kgの餅を作るので、皆様の参加をお願いします。海王丸ボランティア相互の親睦及び乗船券見学者の交流を深める餅つき大会にしたいと思えます。奮って御参加下さい。皆様のお越しをお待ちしています。返信用の葉書に必要事項を記入の上、十一月二十八日迄に返送をお願いします。宜しくお願いします。

「ボランティア登しょう礼・船内案内研修」(一月中旬予定)
「ボランティアの集い」で連絡します。

ボランティア通信

十一月五日の反省会で連絡ありましたスキーツアーの紹介を行います。予定は左のとおりです。

期 間 一月十日 ~ 二月十二日

交通機関 バス

集合時刻・集合場所

午後十時 新湊市文化ホール
午後十時五分 作道かぐら前
午後十時三十分 東洋健康ランド前
午後十時五十分 朝川IC

予 定

一月十日 バス車中泊

一月十一日 湯田中温泉(朝・夕食)
志賀高原スキー場
(スキー自由滑走)

湯田中温泉泊

二月二十二日 湯田中温泉発
横手山スキー場
熊の湯スキー場
(スキー自由滑走)
午後四時頃出発

午後九時頃
新湊文化ホール着

予 算 三万円/一人

決定最低人員 三十名

申込日時 ボランティアの集い(十二月二日)

餅つき大会 (十二月二十三日)

の時に申込み及び代金徴収を行います。

その他不明点がありましたら坂橋さんまで連絡願います。

坂橋 誠さん TEL 0766-84-6329

(問い合わせは午後四時以降でお願いします。)

展帆等イベント

日時 名称 気象 参加人数 ヤード等 その他

十一月五日(日) 総帆展帆 晴
八十八名 ポートタックシヤープアップ
風の影響によりコース・クロジヤッキはホールアップ状態。

あとがき

富山に冬が近づいてきました。シベリアから白鳥や動物園を脱走したピンクペリカンが舞い戻ってくる時期です。冬支度はいかがでしょうか。

アンペンディングセールの際に「今世紀最後の登しようです。」と説明していた時、「昭和五年生まれの海王丸が二十一世紀を迎えるのだな」と思うと何か感慨深いものを感じました。船の寿命は約三十年程度と言われています。同時期の船は殆ど現存しないこの時期に、現役時代の状態で保存されている海王丸を考えると幸運な船であると思えます。二十一世紀を迎えても海のロマン、海事思想の普及を多くの方に伝える船として、未永く保存してもらいたいです。皆様も海王丸を暖かく見守って下さい。
二〇〇一年の正月を迎えます。皆様良いお年を、良き新世紀を迎えて下さい。

舵輪

海王丸乗組員体験記

「初めての遠航」
業務技師

阿部 公雄

今、

海王丸乗組員体験記

「初めての遠航」

業務技師

K A I W O M A R U